

Fuji Sankei Business 1.

シクロケム

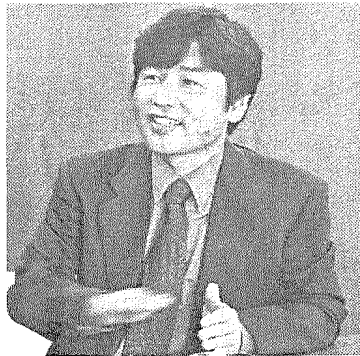
この会社
この一手

◇ 93 ◇

食品業界で「魔法の糖」といわれる「環状オリゴ糖(シクロデキストリン)」。とうもろこしのデンプンから酵素反応によって合成されるブドウ糖を構成単位とする自然由来の糖類だ。

シクロケムは、この環状オリゴ糖を使って、脱脂せず栄養をそのままに牛乳を粉末化する技術を開発した。

同社は世界シェア80%を誇る、ワッカーケミー社(独)の子会社、米国ワッカーケミカルコーポレーションから環状オリゴ糖を輸入・販売している。



寺尾 啓二社長

「牛乳の粉末化技術は国家レベルで応用される。国内の農家に余った大量の牛乳。それを廃棄処理せず、貧困国に向けて牛乳本来の味を損なわずに輸出することができる」(寺尾啓二社長)

コーンベルトと呼ばれる大規模とうもろこし農業地帯が広がる米国アイオワ州、ワッカー社の世界最大級の製造工場。環状オリゴ糖はそこで生産されている。

環の大きさで、 α (アルファ)、 β (ベータ)、 γ (ガンマ)と3種類ある。

α には腸内環境改善による血糖値上昇抑制作用や抗アレ

環状オリゴ糖の可能性に期待

- ◇ 本社＝東京都中央区日本橋本町3の9の4日本橋ロードビル4F (☎03・5614・7147、http://www.cyclochem.com)
- ◇ 設立＝2002年7月
- ◇ 事業内容＝環状オリゴ糖を用いた商品開発、販売

会社概要

ルギー作用、また、香り成分をじわじわと放出させる効果、 β には茶カテキンの苦味を和らげる効果やワサビのあのツンとくる成分を保持させる効果、そして γ にはアンチエイジング(抗加齢)で昨今注目されている成分、コエンザイムQ10を安定化させる作用がある。

なかでも γ は今、一躍脚光を浴びる環状オリゴ糖で、提供できるのは同社のみだ。

環状オリゴ糖はダイオキシンの無害化処理、汚染土壌・水質の改善など、環境対策でも応用が期待されている。

「地球環境は微生物、植物、動物が共存する形で生態系が成り立っている。しかし近年、人間がその「輪」を乱し始めている」

こう語る寺尾社長は京都大学で工学博士号を取得後、ワッカーケミー社のアジア地域管轄の子会社などを経て、2002年7月、シクロケムを設立した。

今年6月から東京農工大学農学部環境資源科学科で客員教授を兼務している。

成分の効能や安全性を補完し、地球環境にも貢献度の高い、環状オリゴ糖。可能性は高まるばかりだ。(チャレンジ企業取材班)

脱脂せず牛乳を粉末化